

■環境仕様書

グレード名		トレイルシーカー		
		ET-SS		ET-HS
車両型式		ZAA-XEAM12X	ZAA-XEAM17X	ZAA-XEAM17X
原動機(モーター)	型式	2XM	2XM-2XM	2XM-2XM
駆動装置	駆動方式	FWD	AWD(常時全輪駆動)	AWD(常時全輪駆動)
車両重量(kg)		1900	2010	2020
電力消費率	交流電力量消費率(Wh/km) (国土交通省審査値)◆ 	114	121	121
	市街地モード(WLTC-L)	98	105	105
	郊外モード(WLTC-M)	107	114	114
	高速道路モード(WLTC-H)	127	135	135
一充電走行距離(km) (国土交通省審査値)◆ 		734	690	690
排出ガス	適合規制	電気乗用車 排出ガス規制の適用を受けない自動車		
騒音	適合規制	平成28年規制		
	加速騒音規制値(dBA)	68	69	69
エアコン冷媒の種類(GWP値 注1)/使用量(g)		HFO-1234yf(1注2)/700		
車室内VOC		自工会目標達成(厚生労働省室内濃度指針値以下) 自工会2006年目標達成(1996年時点の1/10以下)		
環境負荷物質の削減	鉛*1	自工会目標達成(2005年1月以降使用禁止)		
	水銀*2	自工会目標達成(2008年1月以降使用禁止)		
	六価クロム	自工会目標達成(2007年1月以降使用禁止)		
	カドミウム	自工会目標達成(2007年1月以降使用禁止)		
リサイクル	リサイクルし易い材料の使用	バンパー、インパネ、ドアトリム等にリサイクルし易い熱可塑性樹脂を多用		
	再生材の使用	一部の樹脂部品に市場回収リサイクル材を、防振防音材に衣類縫製端材・故紙を再利用		
	材質表示	100g以上の樹脂部品、200g以上のゴム部品に材質表示		
環境負荷物質使用状況等	解体性を考慮した設計	バックドアの取り外し容易化、バンパーの材質を取り外し前に確認できる位置に表示		
	鉛	使用部品:電子基板・電気部品のはんだ、銅合金(2ウェイコネクタ)等		
	水銀	全廃済み		
	六価クロム	全廃済み		
	カドミウム	全廃済み		

注1:GWP=Global Warming Potential(地球温暖化係数)

注2:フロン法において、乗用車用エアコン冷媒は、2023年度以降、環境影響度を製造者等ごとに出荷台数で加重平均した値が目標値150を上回らないことが求められております。

◆交流電力量消費率および一充電走行距離は定められた試験条件のもとでの数値です。したがって、実際の走行時には、気象、道路における交通の混雑の状態、運転方法に応じて交流電力量消費率および一充電走行距離が異なってきます。電気自動車は、走り方や使い方、使用環境等によって航続可能距離が大きく異なります。

◆WLTCモードは、市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モードです。市街地モードは信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定し、郊外モードは信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定、高速道路モードは高速道路等での走行を想定しています。

◆交流電力量消費率および一充電走行距離はエコモード時の数値です。

■自工会目標適用除外部品

*1:鉛バッテリー(リサイクル回収ルートが確立されているため除外)

*2:ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンビネーションメーター、HIDヘッドランプ(交通安全上必須な部品の極微量使用を除外)

■記載内容はトレイルシーカー プロトタイプによるものです。この仕様はお断りなく変更する場合があります。

車室内VOC*の低減

鼻、のどなどへの刺激の原因とされるホルムアルデヒド、トルエン等の揮発性有機化合物を低減するために、車室内の部材や接着剤を見直すことで、その揮発性を抑制しました。また、厚生労働省の定めた13物質の室内濃度指針値を下回るレベルとし、車室内の環境に配慮しました。

*VOC=Volatile Organic Compounds(揮発性有機化合物)

生産における環境負荷の低減

SUBARUは、工場から排出される廃棄物をゼロレベルにする「ゼロエミッション工場」化をすすめています。また、生産における省エネルギー化、水使用量の低減など、環境に優しいクルマづくりをすすめています。

■記載内容はトレイルシーカー プロトタイプによるものです。この仕様はお断りなく変更する場合があります。